

一万燈の和のあかり 思いを灯す春の宵

# 太子聖燈会

しょう

とう

え

## 4月19日(土)・20日(日)

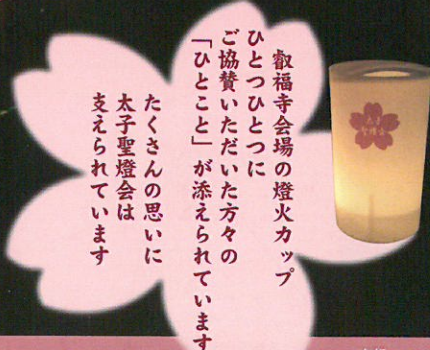
両日とも荒天中止の場合は21日(月)に開催

午後6時～9時 午後6時30分点灯

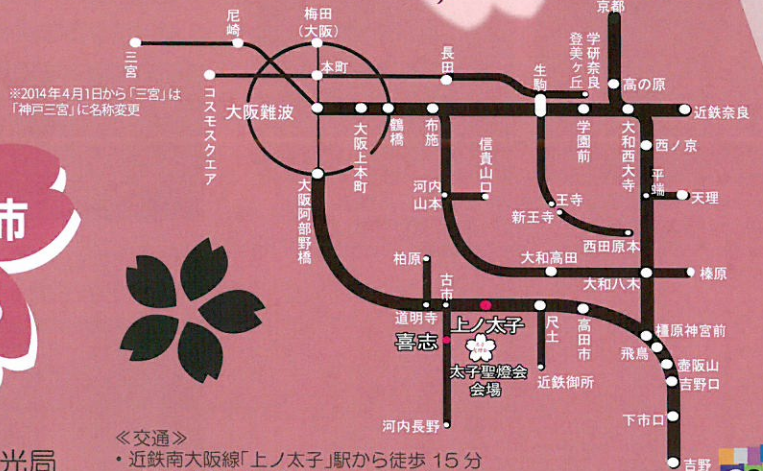
会場／叡福寺・西方院・太子和みの広場



叡福寺会場



叡福寺会場の燈火カップ  
ひとつひとつに  
ご協賛いただいた方々の  
「ひとこと」が添えられています  
たくさんの方に  
太子聖燈会は  
支えられています



※2014年4月1日から「三宮」は「神戸三宮」に名称変更

協力開催  
**たいし聖徳市**  
両日とも  
17:00～21:00  
(太子和みの広場)

お問い合わせ  
太子聖燈会の会事務局  
TEL 0721-21-5798

大阪府南河内郡太子町山田 88  
太子町観光・まちづくり協会の内

主催 太子聖燈会の会  
後援 太子町 太子町教育委員会 大阪府 大阪観光局  
華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会  
近畿日本鉄道株式会社 (順不同)  
協賛 大阪南農業協同組合 たいし聖徳市

交通  
・近鉄南大阪線「上ノ太子」駅から徒歩 15分  
または金剛バスで「太子前」下車すぐ  
・近鉄長野線「喜志」駅から金剛バス「太子前」下車すぐ

※混雑が予想されますので公共交通機関をご利用ください。  
専用駐車場はありません。



太子聖燈会は大坂ミュージアムの登録物です

たいししょうとうえ  
太子聖燈会

聖徳太子の「和」の精神を尊び、太子町を訪れる人々の幸せを願うあかりが、  
魅力あるまちづくりとまちの活性化につながってほしい。

そんな、太子町を愛する地域の人々の思いで始まった太子聖燈会（たいししょうとうえ）」も今回で7回目  
今年の春も、聖徳太子が眠る地を、1万燈の灯火（ともしび）が彩ります。

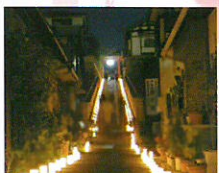
会場案内



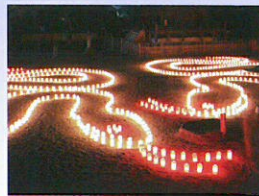
太子の教え「和をもって貴しと為す」を「和」の文字で表現しています



金堂前では「鳳凰」がお出迎えます



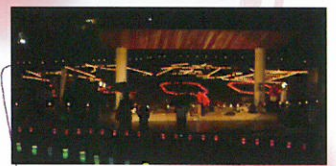
西方院は、聖徳太子の3人の乳母、月益姫・日益姫・玉照姫（それぞれ蘇我馬子・小野妹子・物部守屋の娘とされる）が、太子の冥福を祈るために尼となり創始したと伝えられています



境内東側では今年の干支を表現する予定です



聖徳太子の五字ヶ峯伝承をもとに、5色の瑞光を表現しています



毎月第3日曜に開催されている「たいし聖徳市」が夜市として協力開催



叡福寺は、聖徳太子廟を守護するために、推古天皇により建立された香華所が起源と伝えられています

叡福寺会場の燈火カップひとつひとつに、ご協賛いただいた方々の「ひとこと」が添えられています。たくさんの思いに、太子聖燈会は支えられています

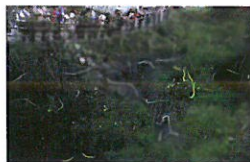
ご協賛のお問い合わせは事務局まで



太子四季物語

太子町では、春の太子聖燈会のほか、夏の唐川ホテル観賞会、秋の竹内街道灯路祭りなど、四季折々の太子をお楽しみいただけるイベントが開催されています。

●唐川ホテル観賞会 平成26年6月初旬 太子町唐川上流



安全で生物にやさしい川づくりを目指して整備された唐川では、「唐川ホテルを守る会」によるホテルの保護、育成や河川の清掃など精力的な活動が行われています。毎年たくさんのホテルが育ち、幻想的な淡い光が訪れる人たちを魅了しています。ホテルの最盛期には、観賞会も開催されます。

●竹内街道灯路祭り 平成26年10月18日(土) 荒天翌日 竹内街道沿道(太子町春日西交差点～道の駅近つ飛鳥の里・太子間)



竹内街道・横大路は613年に推古天皇により敷設され、大阪・難波から奈良・飛鳥を東西に結んだ最古の官道で、昨年1400年の節目を迎えました。「竹内街道にぎわいづくり協議会」では、秋に沿道を灯ろうで浮かび上げらせるほか、軒下ギャラリーなどが出展する住民手づくりの「灯路祭り」が開催されます。

